京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ケ月前金三十錢▲三ケ月前金九十錢▲六ケ月前金一圓八十錢▲郵稅一ケ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休日（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久太郎
印刷人 松久靜一郎
發行所 京城西小門通 京城新報社
電話大三番 振替口座京城四五大番
仁川支局 仁川宮町三丁目 電話二一一番
東京支局 東京市京橋區南佐柄木町七番地

●冥府の伊藤公へ（十二）

恐々縮々庵主人

●閣下怪しむ勿れ當半ばにして此の稿の中絕したるを這は他に非ず去る十三日發行の京城新報が治安に妨害ありと認められ其の筋より發賣頒布禁止並に發行停止を命ぜられたるが爲めなり閣下幸に之れを諒せよ

●閣下言ふ迄もなく內地の移住民は朝鮮開發の先驅たり彼等は朝鮮內地のあらゆる部面に於て勤勉力行一意自巳の根據と地盤とを築くに汲々たると同時に一面に於て朝鮮開發の大業に貢獻しつゝあり而も彼等は日本が朝鮮に宗主權を確立せし以前は勿論其の後に於ても生命財產の安固を期する能はず（併合後は然らず）中には匪徒の爲めに貴重の生命を失ひ財產を損じ艱苦困憊多年經營の事業は水泡に歸し爾巳ならず一家を擧げて悲慘の境遇に陷りしもの尠からず又假令是等の境遇に陷らざる迄も其の多くは力戰奮鬪到底普通一般の人の思ひ及ばざる幾多の困難と苦痛とに遭遇して辛うじて今日の安全をいたせるもの之れを以て思へば彼等が朝鮮の開發に就て如何に苦心慘憺の度を重ね居るかを知るに足るべきなり然るに何者の愚昧兒ぞ是等移住民の多くを目して無賴不逞の徒となし常に彼等を蛇蝎視し仇敵視して止まざるものあるをや

●閣下予は凡ての場合に於て公平ならんことを庶幾す敘上移住民の中には所謂愚昧兒の目して以て無賴不逞の徒となすものもあらん然り彼等の中には邪智奸黠善惡の區別を辨へず道義の何んたるを解せず恰かも塵棄場に捨てた魚の如く煮ても燒ても喰へぬ代物なきに非ずされど是等は多數の中の一少部分にして決して其の多くには非ず其の多くは前記の所謂勤勉力行一意自巳の根據と地盤とを築くに汲々たると同時に一面に於て朝鮮開發の大業に貢獻しつゝあり、現今朝鮮の文化及び產業が幼稚ながら漸く茲に發達したるは其の大半に於て移住民の効に歸せざるべからず惟ふに這は賢明なる閣下の既に業に諒知せることならんと信ず而して是等の尊ぶべき敬すべき我が內地移住民の現狀は果して如何なるものぞ又當局が是等移住民に對する措置は果して如何なるものぞとの問に對しては予は愛に多くを言ふを欲せず他日民團制廢止後の處置如何を見て兎角の議論を試みんかな

●閣下世の多くのものは日鮮人同化を言ふ日鮮人同化して始めて眞の併合は行はるゝなり眞の併合の實を擧ぐるなり其の方法は多々あらんも日鮮人の結婚の如きは其の重なる一ならんと嗚呼同化なる哉〳〵同化は併合の事實を完全たらしむる根本意義にして又必至の理數なり誰か之れに對して喋々の辯を挾むものぞされど物には次第あり事には秩序ある如く同化にも亦夫れ相當の順序と方法なからざるべからず然るに世人は一概に同化〳〵を口にす恰かも之れ富士の裾野より一合二合三合四合乃至夫れ以上の道程を見ずしてイキナリ富岳のチッペンに登らんとするとの譏を免かれなし其の無謀無智なる寧ろ滑稽事に類せずや閣下もつて如何となす

雜錄

●京城週りの記（五）

鐵翠居士投

ポストの側小犬の下駄を咬へて來るを見つゝ五丁目を過ぐ藥店の小僧等が爭論するを聞くに甲は乙に乙は丙に下駄の行衞に付責任を讓り合へり知らず罪なき小犬よ汝は店の飼犬なりや否や胸中泡を吐きつゝ赤門通りにいで此度移轉建築の官舍を眺め予は深き感慨の念を生ぜり但予と同感の人もあるならんソハ永禧殿迄取除きたる赤門一壇の地を何故市民の娛樂場に供せざりしや也赤門は同胞居住地の樞軸に方り狹き市街に一ッの避難場なく一ッの娛樂場なく多くの市民は市中を漫步して憩ふ處なし劇雜なる本町通りは大きなる患も出來ざる處ならずや予は官邊の方々が何故夫位ゐの點に意を用ゐられざりしやと疑ふ根を吞んで下へ黃金町を南大門通りに外道の兩側にチゲの安閑と三々五々肢を枕として浮世の夢を見つゝある樣を見て彼等は其家族を養はん爲めには日の暮れ〳〵後家にも歸らず野に臥して曉を待ち米代を得ん爲めなしりかと思へば必切に同情の念止まざるものありし長谷川町通りを大漢門前に過ぎ王世子殿下歸國の事など懷ゐ起し覺へず口吟一二

根は李さくらの接木榮ゆらむ

植木師の靈匠を込めし庭木哉

太平町を通り南大門に出て門の內外に巡査が終日の疲れもあらふに十時過ぎ立番して居るを見精神に感謝の意を起し異直に民團の角へ五個にて氷塊を買ゐハンカチに包んで持ち歸り丸座を遺りて食ゐ此の記を草して眠に就き翌午前五時起床健氣昨日よりも强し

文苑

●歌屑

雲遊儱宿堂主人

○紹の帶は秋草模樣うすもの袖輕らかに川風の吹く

○老たれば此秋風もしむぞの母のみ文にまたなかれぬる

盲目となりし友を思ふ

こゝろざしとげぬ恨を胸にして風もいたまし故鄕の秋

同上

わびしくも吹か秋風故鄕の友よ今宵もひとり聞らむ

寄在故國詩盟井蛙詞兄。與君別離以來。一年有半。曾不見慰旅情。豈非不仁哉。況於君稱世仁術業醫乎。

在鮮 加藤游濠

一年有半損貴顏。況復秋風到漢關。鄕思詩々凭檻誦。蕭條松韻起君山。

秋立や先つ氣こゝろのしまりから

○寄活處詞兄。君與井蛙君。結桃園之盟。鼎座倒卓。俱談風流。金蘭相許。而一別以來。齋巳閱再三。然君毫不答。秋空易變。人情浮薄。至茲甚矣。

同人

來者方親去者疎。人間當世實情虛。白憐不遇知音少。客思羈心次第舒。

虫の聲れもひ出してはまた淋し

召使れ初

第百四十八回

默法師

臨床の釣花瓶に挿けたる蓮の花は凋れて、主の心に悉ふが如く色も褪せたり、雨を侮む庭の海棠、石燈籠の蔭に鳴く雨蛙、何れた道の苦悶に伴れぬ物は無し。

「旦那樣へ」とれ察は次の間に手を支きて「御氣分は惡うわらせませうも、れ衣替遊ばしては何うござります、れ御袷衣の肌に輕いを着させられてりや少しはれ胸も開かせられるでござりませう」と何日の場合にも精悍し。

「着替ゐは後でも好いで」とれ道は力めてさあらぬ体に持爲して「いつもの人蔘湯煎じてたもらぬか、ちと胸が痛むやうな」

「うれは可けませぬ、れ藥はすぐ煎じます、暫くれ待ち遊ばしませ」

「急ぎはせぬで、緩々と賴むはの」

「横にれ爲り遊ばしては何うござります、れ枕をれ上げ申しませうか喃」

「れ藥を戴くまで、書物をして居やうで……御苦勞ぢやが煎じてたもれの」

「心得てござります、只今れ上げ申します」

れ察は主の上に心を殘しながら、れ次の間に烟爐煽ぎて、煎藥を煮る爐扇の音高かりき。

れ道が欲しくもなき煎藥を命じたるは、この間にてれを此世の暇乞とあるべき書狀を認めん心なりき、彼女は奥方御前に堪ね難き恥辱を受けたる時より、死して心の潔白を表さんと覺悟したるなり、生て御殿に奉公する間、深野一派の白き眼に睨まるゝを避けんやうはなく、さればとて今さられ暇乞ひ受けて、德兵衛の家に歸るとも幸福ある身にはあるまじく、他人に面を見られたる上、德右衛門の執念き戀に責めらるゝも無念なり、れ父樣御側へ參りては、御浪々中の人の口一つ增れし御苦勞を見ねばならぬ悲しみ右よりするも左よりするも、日本に五尺の身を置く處なければ、死して覺ぬなき濡衣を乾す外なしとは、前に御前を退りたる時よりの決心なりき。

彼女は泣く〳〵筆を取りぬ、第一には大恩ある國尾への一通、りも〳〵海老屋の奥座敷に、始めて彼方に見出されしより、今日に至るまでのれ情、九の世を替ゆるとも贈り參らする時はあるまじ、さるを我身不調法より、大恩の上に泥を塗る、罪過償ふに道も無し命はこゝに絕ゆるとも魂魄は後に殘りて富貴姬樣御上、奥方樣御上、續いてはあなた百千年の御壽を守護し參らせん心の願ひを繰り返し書きたりき。

次には母への書置、二十年御養育の大恩をも送り奉らず、先つ不孝の罪深けれど、生きて人中に面を曝さんやうも無き身の甲斐なさを察したまへ、れ父樣は御老体、雨にも風にも厭はせられて、御好物の御酒は、私手道具衣裳の類にも換ねさせて、彌々でとのれ樂み、草葉の蔭より願ひ參らす、今果の思ひ出、只一目御顏は拜みたけれど、儘ならぬ勤めの身は、やがて夢にも入り參らせん、御二柱とも玉椿の千代八千代まで御長命、冥途に御待ち申し上げする、と幾許書きても書き盡せぬ筆の跡は潤濕みて見わき。

次には海老屋夫婦の者へ、兩親の事家の事、兄佐十郎の事までもくれ〳〵保護を願む等、書き記し、國尾への遺書は手文庫の底深く、母と德兵衛とへ宛てたるは、蒔繪の文箱へ堅く納むる涙に濕る面を拭ちて、豚々と聞こゆるは、奥心濃く煎じ居れる人蔘湯の匂ひなりき。

廣告

東京電報

▲外務省豫算　本年度外務省の豫算は未だ全部編成に至らざるも大体にかては前年度と大差なく新事業費として要求せらるゝものは在外領事館增設の必要あるもの二ヶ所あり此外浦鹽斯德港の總領事館又は在濟國領事館の各建物其他に關する費用等新に要求せらる可く又本年度より倫敦紐育天津香港等に設けられたる海外商工業一般經濟情態の調査研究に從事せしめたる商務官を明年度より漢堡巴里若しくは里昂桑港等にも派遣し置くの必要あれば此等の費用も明年度豫算に計上せらるべし全部の豫算確定し大藏省に廻附するに至るは十月中旬内田新外務大臣歸任後なる可し

▲保險法の改正　農商務省にては商法の改正に伴ひ現行保險法に改正を加ふると共に保險業者の監督を嚴密にし保險契約者の保護を當業者の利便を謀る目的を以て該案を來期議會に提出せんと先般來調査研究中なりしが此程大に進捗し不日結了の筈なるが成案を得たる上は多分保險業者に諮問する事となる可し

▲府縣會議員候補の政派別　各府縣（島根佐賀を除く）會議員選擧期日切迫せるを以て何れも多少の競爭を演じ居れるが其筋の調査したる候補者數は千二百六十六名にして各政黨内譯は左の如し
一、政友會六百二十五名
一、國民黨三百四十二名
一、中央派五十三名
一、無所屬二百四十六名

▲罹災民の救濟方針　各府縣に於ける罹災民救助基金は至極少額にして全國を通じて五六百萬圓の融通を爲し得るに過ぎず然るに年々天災頻々として發生する際し斯かる罹災民を救濟するには少くも一千萬圓以上の資金を有せざる可からざるを以て大藏省にては從來の基本金制度に改善を加へ一層完全なる方法を講ぜしむ可しと

▲露國首相の任命　ストリピン氏逝去したるに付き藏相ココツォフ氏總理大臣に任命せらる

▲各地の治水計畫　治水計劃の第一期として施行せらる可き河川改修は目下第一期工事として十一河川に對する工事を施行しつゝあり同工事中に含まれ居るは木曾川阿賀野川富士川最上川神通川吉野川加古川緑川堀川の十ケ川にして本年度内に改修計劃を爲し調査結了次第工事に着手する由にて昨今調査を急ぎ居れるが右河川が明年度内に着手せらるゝや未定なるが庄内川は本年度に竣工の筈なれば之に代る三四ヶ所加へらるゝは事實なるべし

▲商品改良會　農商務省商品陳列館にては來る十月十五日より十一月十五日迄第四回商品改良會を開催し主として内地產の木材を材料として工作を施したる製品の陳列を爲す筈なり

▲選擧取締方針質議　國民黨政務調査局理事合田福太郎外一名は二十日午前内務省に床次次官を訪ひ今回の府縣會議員の選擧に於ける地方官の干渉若しくは不公平なる處置に對して内務省の方針を質問する處ありたるに同次官は大様左の如く答辨せりと地方官にして干渉がましき事若しくは不公平なる所爲あらば決して看過せず若しかゝる事實ありて報告あらば必ず相當の處分をなすべし

▲濟生會許議員囑託　濟生會地方許議員は東京横濱名古屋京都神戸大阪の六都市に決定したるが何分九州地方にも必要ありたるが右寄附金の決定次第各府縣の評議員を囑託する筈なり

雜報

●寺內總督訪問　寺内朝鮮總督は十八日午前元田拓殖局總裁を訪問し今後の朝鮮施政に關し意見を交換し同時に歸任の挨拶をなしたり

●總督と平和博士　來遊中の米國スタンフォード大學總長ジョルダン博士は十七日寺内總督を其自邸に訪問し世界の平和に就き意見を陳述するところありたり

●軍司令官巡視　上田軍司令官は左の日程にて西鮮各地を巡視す可しと云ふ參謀岡本中佐、高級副官竹本中佐隨行
二十二日出發新安州▲二十三日新安州義州▲二十四日義州新義州▲二十七日義州▲二十八日新義州出發歸途

●朝鮮醫師規則　内務部元衛生課に於て立案中なりし朝鮮醫師規則は辯護士規則と前後して發布の筈なりしも實地調査の結果諸般の關係非常に復雜を極め到底辯護士の比に非ざるを以て遂ひに遲延今日に於て尚ほ發布を見るに至らざれども先般警務總監部に衛生事務統一せられて以來同部に於て引續き審査中にて大体は既に内務部時代に起案濟みなれば意外に速く終了し近日制令を以て發布の運びに至る可しと其内容に就て某當局者の語る處によれば朝鮮醫師たるの資格は內地人たると鮮人たるとを問はず官公立醫學校及特に指定したる私立醫學校外國醫學校卒業者及開業試驗に合格し合格證書を有するものとし他の草根木皮等を以て從來醫療に從事し來れる朝鮮醫は臺灣の例に倣ひ醫生として當分の内醫業に從事せしめ置く事等なりと云ふ

●食糧品の取締規則　食糧品の取締規則は内務部元衛生課に於て立案警務總監部衛生課に引繼ぎ起草中なりしが漸く完成するに至りたるを以て近日發布さるべしと云ふ

●政務總監の訓示　山縣政務總監は二十一日午前九時桑原秘書官を隨へ府郡書記講習會に臨席宇佐美内務部長官、小原地方局長、澤田地方、松本庶務の兩課長竝各新任府郡書記九十六名に對し新任後に於ける執務に關し訓示する處あり最後に講習場庭前に於て一同紀念の撮影を爲し同十時退席したり

●稅制調査の經過　京城民團の稅制調査委員十七名の調査は去る十五日全部民長の手許に提出する筈なりしも一部分のみにて全部の提出を見るにいたらず何れ民長の手許に全部提出し詳細の案を見るに至るべし

●鮮銀の地金高　朝鮮銀行にては京城本店平壤支店並に元山支店の三個所に於て地金の買入れを爲しつゝあるが本年上半期に於ける該買納高は三個所を併せて其金額三百七十八萬六千圓（但し一匁に付き…八十匁八分三厘）にして金の產地は重もに平安南北道黃海道咸鏡南北道江原道忠淸道之れに亞げ就中平安北道は砂金多く咸鏡道は槪して平南道の順安黃海道の遂安等より產出するが雲山及び遂安等の金も云ふ次に地金採掘の大なるは雲山なるも前記黃海道の遂安等の金も外國人の經營と同じく多大なるが要するに日本人にして個人の採掘數頗る多しといふ因に毎月日本に送付する額は平均二十七八萬圓なりと云ふ

●日韓瓦斯總會　既記の如く日韓電氣瓦斯會社は昨二十一日午前十時より東京神田青年會館に於て第六回定期總會開會左の如く利益金分配案を附議し異議なく可決す
當期利益金　一金十萬四千七百五十三圓八十二錢六厘
前期繰越金　一金九千〇五圓三十六錢
計　金十一萬三千七百五十九圓十八錢六厘
内
準備積立金　五千二百三十八圓
別途積立金　五千二百三十八圓
役員賞與金　四千圓
株主配當金　九萬圓（一株付一圓五十錢）
後期繰越金　九千二百八十三圓十八錢六厘
次に臨時總會に移り取締役七名滿期改選を行ひ前任者岡崎遠光、高松豐吉、久米良作、大橋新太郎、山口太兵衛、白寅基、白石直治の諸氏重任せり

謹告

去十三日の本紙所論其筋の忌諱に觸れ爾來發行停止を命ぜられ居候處二十日夜解停の命に接し又々讀者各位に見ゆるの光榮を有する事と相成候就ては停刊中報道機關として本分を盡くすことを得ず讀者各位に御迷惑相掛候段實に相濟まざる次第茲に謹謝仕候斯くも本紙が度々筆禍を相受け候も畢竟本紙が民間新聞として餘儀なきの結果に外ならず候へば此點御推察下され一層の御同情を賜り度併て希上候敬具
尙停刊中讀者諸君及び同業者諸君より御同情を寄せられし向不尠一々御挨拶可申上筈の處乍略儀添て深謝の意を表し候

●競賣社營業狀態　去る十六日を以て開業式を擧げたる京城競賣會社其の後の營業狀態を聞くに元來同會社の競賣定期日は三の日八の日なるが競賣依頼者の便宜を圖り臨時競賣を爲すこともあり而して開業早々定期に基き十八日競賣を行なひたるが當日の競賣價額三千五百圓にして品物は重もに古着古道具なりといふ尤も十七日五十競賣所の名義を以て競賣を爲し二千五百圓の賣上高を見たるが當日は書畫骨董多かりしといふ手數料は一割にて重に仲買人の手に依るもの多きが會社は廣く個人の競賣をも歡迎すべきに依り品物の多少を問はずドシドシ持參されたしとの事なり尙同會社は土地家屋の競賣の依頼にも應ずべく市内は勿論地方にも社員を派出し競賣斡旋の勞を執るべしといふ要するに現今の狀態を以て進めば優に豫期以上の好果を收むべく現に十八日の競賣品の如きは賣上高は三千五百圓なるも全部の品物は五千圓以上に達し千五百餘圓の品物は次期の競賣日に賣却せん豫定なりといふ次に參考迄に京城に於ける四個所（五十、一六、二七、毎日）の競賣所の一個月間に於ける概要の賣上高を掲ぐれば五十競賣所三千圓一六競賣所二千圓二七競賣所千五百圓毎日競賣所七百圓なりといふ

●清津提出案　清津商業會議所より全國商業會議所聯合會へ提出案左の如し
日本海を横斷し北滿洲と裏日本とを聯絡する航路及鐵道急設に關する建議

●豆作豫想高　農商工部にては豫て本年度各道大豆收穫豫想高調査中なるが來月上旬右報告纒まるべしと

●木浦附近の棉作　本年度に於ける木浦附近の棉作は發育非常に良好

停刊中の重要記事

●講習會卒業式　目下開催中の各府郡書記講習會は來る二十七日午前九時より卒業證書授與式を擧行し宇佐美内務部長官より卒業證書を交付さるゝ筈なり

△未墾地調査開始　農商工部にては十六日より八尋技師主任として京畿道二郡忠淸南道一郡黃海三郡内の未墾地調査に着手するに決す

△釜山附近の地價　釜山附近賣買價格水田一斗落（百二十坪）一等地五十圓二等地三十六圓三等地十八圓畑地一斗落（百五十坪）一等地十二圓二等地八圓三等地八圓なりといふ

△商業會議所總會　十三日臨時總會を壽町同所内に開き商工調査會に關して協議をなせり

△恩賜公債引替額　朝鮮貴族及び兩班等に恩賜の公債を總督の許可を得て現金に引替へたる金額四百三十萬圓に達し尙引替の請求者多しといふ

△外字新聞の入禁　神戶のジャパンクロニクル九日發行の分治安妨害の廉ありとて朝鮮に輸入を禁止せらる

△控訴院部長新任　高等法院判事鈴木伍三郎氏京城控訴院部長に被補

△佛國領事の發着　在芝罘佛國領事ゲラン氏京城在勤を被命十四日着任京城在勤副領事パイヤー氏十五日出發任地香港に向へり

△會議所總會決議　十三日京城商業會議所總會は商工調査會組織を可決し（二）朝鮮米斤量建改正は朝鮮米改良後に實施するを可とする事（三）京城府諮問佐野彥藏外四名度量衡販賣を可とする事（四）民團調査中の道路擴張に付ては議所よりも五名の調査員を撰定する事

△長島書記官入京　長島大藏省書記官十四日夜入京す

△新義州江岸棧橋　新築工事認可となる其設計は五間巾十二間の基地を埋築し棧橋は延長四十五間巾四間長十五間の浮棧橋とにして此工事費金八萬圓を要すといふ

△取引所問題の經過　釘本深見曾我白完赫梶原大橋小林池田長兵衛大村保太秋吉宮太郎前田白寅基趙鎭泰諸氏を出願準備委員とし十四日委員集會を開く

△各長官定例會議　十五日總督府内に於て開かれ正午散會す

△公州慣業院設立　忠淸南道公州の官民出獄者保護救濟を目的として公州慣業院設立を發起し汎く慈善家の寄附を仰ぐことを決議せりと好擧と云ふ可し

△狩獵免許手續公布　警務總監部令第十號を以て狩獵規則による免狀及特別許可に關する件十六日發布さる

△米國武官の視察　米國大使館附武官中佐ホーソルン氏十六日東京出發約一ヶ月の豫定にて朝鮮各地を觀察し尙各守備隊の參觀をなす筈

△内地人農家分布　總督附最近調査に係る朝鮮全道に於ける内地人農家總戶數二千百三十二戶人員六千八百九十二人なりと

△取引所出願常務　十七日取引所出願準備委員會合し委員中より釘本曾我深水梶原小林の五氏を常務委員に撰擧す

△競賣會社開業株　京城競賣株式會社は十六日午後二時より京城ホテルにて開業式を兼ね披露宴を張る因に同社重役は池田増田小林近藤林釘本の諸氏なりと

△倉富長官の上京　倉富司法部長官は司法事務打合せの爲十九日東上す

△長官の定例會議　十九日總督府に於て開會事務の打合せをなす

△馬山縣洞間航路　福岡縣人吉田磯吉瀛齡日勝丸（三十二噸）を以て馬山縣洞間の一日往復八回の航運業を開始す

△土地調査局巡視　山縣政務總監は二十日土地調査局を巡視す

△穀稅廢止の運動　十九日京城商業會議所役員會を開き穀稅撤廢請願の爲委員を上京せしむる件に付協議す

●民團會計檢查終了　京城民團四十三年度及四十四年八月迄の會計檢查は古城民外三名の檢査委員の手にて十八日より行ひれるが二十日を以て無事終了したりと云ふ

●仁川商議役員會　仁川商業會議所にては二十日午後四時より仁川俱樂部に於て役員會を開き京城商業會議所より照會の穀物輸移入稅撤廢運動の件に付協議の結果奧田會頭は二十三日京城商業會議所を訪ひ運動方法を講すべく地方狀況視察員派遣の件は會議所より百圓を支出し穀物協會理事橘香橘氏に一任する事に決し同六時散會す

●漢城府民會解散式　漢城府民會の解散式は來る二十四日午後一時より奬忠壇にて執行す

●李王德壽宮御成　李王同妃兩殿下には廿一日午後五時德壽宮に成らせられ故嚴妃の除服式を行はせられて八時歸邸せらる

●市原總裁の歸京　東上中なりし市原朝鮮銀行總裁は二十二日朝南大門驛着歸京すべしと

●古城民長の歸任期　嚴父危篤の報に接し郷里大分に歸省中なりし古城民團長は來二十九日朝歸任すべしと

●岡崎日韓瓦斯專務の歸朝　東上中なる岡崎日韓瓦斯專務は本月末歸任すべしと云ふ

●府郡書記の赴任期　講習を了したる各府郡書記は卒業證書授與式翌日各任地に向け出發の筈なり

●官廳執務時間　總督府各官廳は二十一日より午前九時より午后四時迄に變更されたり

●大坂毎日支局移轉　大坂毎日新聞京城支局は今回南山町二丁目へ移轉せり

●山本支塲長來京　勸業模範塲木浦支塲長山本小源太氏は二十日入京浦尾旅館に投宿す

●藤宮氏の出發　元建築所仁川出張所藤宮惟一氏は今回釜山稅關工事課に轉任し二十日午前八時赴任の途に上り同地官民有志の見送り盛なりき

●內田畑二氏代議士運動　當地在住滿鮮實業協會の內田竹三郎氏は明年の代議士總撰擧に際し對馬より候補者として又元桃山遊廓差配人たりし畑彌右衛門氏は鄉里山口縣より候補者として何れも打て出でんと目下準備中の由なり

●仁川府會内道路修繕　仁川府會内面官片里より南村面、朱安面邑面方里に通ずる道路約一里程を修理に着手すべく目下準備中

●仁川倶樂部例會　二十三日午後七時より仁川俱樂部例會を開き席上民長の母國視察談ある筈

公人私人

▲前田英一（馬山民長）二十日巳城館へ
▲岩瀬靜（大邱會頭）同巳城館ホテルへ
▲山本小源太（技師）二十日浦尾旅館へ
▲小野純一（義州慈惠病院長）同天眞樓へ
▲石田穠太郎（鐵道局參事）同天眞樓へ
▲指宿武吉（技師）二十日山本旅館へ
▲長野武一（醫師）二十日開城行

仁川港出入船舶
▲群山丸　二十二日大坂へ向出帆

▲京城手形交換高▼
九月二十二日　金高　一六二、七七七、〇八〇

▲治外法權▼　審判郡然何當拜的、對朕者誰、還云不識▲寺內總督の赴任は二十五六日頃との事、右に付ては人は別項記載の通り元田拓殖局總裁を訪問し、半島今後の施政に關して意見の交換を遂げ、同時に歸任の挨拶をも述べたとの事だが、新任の元田に對しても寺内が下手に出たのは同人が著るしき證據だ▲新内閣は輿論を尊重し最も困難なる減稅に着手するツサテ此輿論尊重の風の玄海灘を越へて來るのはイツの事か▲イヤ落膽するには及ばぬ、物價騰貴も必ず通す、アレ程暑かつた夏も過ぎてハヤ袷の要る秋となつたではないか兎角娑婆に居る間は辛抱が第一、寺内政府が輿論尊重と來るのも其中だよ▲在英の鶴岡馬賊から米國への通知を受取つたが、一昨日は當地を出發べき前間恭作が町人姿で當地を出發たに就て思出されるの公使館員、今の殘留者は國分一人として其數寥々。只一の市岡義之うて僅かに意氣を存す▲新設の京城競賣會社は中々繁昌の樣子、ソレも需要者と供給者との遭遇點が該會社で容易に見出されるからだ▲遭遇と云へば今後ドウしても見出されねばならぬは鮮人及び移住内地人と總督政治の遭遇點だが、之さへ見出せれば統治は易々だ▲自ら浪爾を有すと信ずる記者は昨夜新來の吉川今朝いた、彼れの語り振りドコヤラ若丸に似て而かも若丸に似たところ彼れ新進氣鋭未だ所謂大家の列に入らずと雖も其技や以て好浪家を喜ばしむるに足る▲奈良丸と云へば彼の浪速節學校を紀州和歌の浦附近に建てたソウだ、浪速節學士、國得業士の出づる蓋し近きにありか。

●口入屋の卅分（一）　白面子

秋冷漸く肌に催して居る今日此頃市中の口入屋の景況を見て來るのも無駄ではあるまいと思ひ付いて十九日午後二時半社を飛び出た、夫にしても先づ第一市中に同業者が何軒あるかを知る必要がある、去る頃の惡周旋業者の檢束で騷いだ事だらうが併し未だだらうと思ひ乍ら南部署の保安係の鈴木部長に聞き申さうと出掛けたが生憎居られない、ハテナと記憶を辿つて試る、旭町三丁目に一軒、本町六丁目に一軒、新町に二軒、北米倉町に一軒、中の新地に一軒ある事が明確に思ひ出される、然らば先づ新町のをと決定する、新町三丁目左側に小間物化粧品並に雜貨商のさぬき屋と云ふ家の隣にポストを控へた小路がある其入口に「女かみゆひ處大坂屋」「口入業丸屋」と小さい看板が列んで掛けられて居る、綴んだ[illegible]めて俗裝格好を崩して小路を入る、看板の隣り合つてる如く大阪屋と丸屋とは向ひ合つて交誼好き相だ、此の「女かみゆひ處」は新町女郞衆一の客で日日毎[illegible]迎引も切らぬとのことだ、丸屋の店を覗くと二十六七歳の丸髷姿の女將らしき婦人の姿が見へる、此れなら安心と[illegible]ノッソリと庭に立つ、と女將の目は「掠[illegible]にキラリと光る「入來[illegible]らニコヤカに「れかけ[illegible]蒲團をすゝめる、此[illegible]て居る新町廓內の女[illegible]かも夫れの多くは金[illegible]らくあさましい窯子も[illegible]だから失笑たいナ、[illegible]那は何處へかれ出掛[illegible]食は何面をして見せ[illegible]何食はぬ面で「所天[illegible]て太田まで參りまし[illegible]ましようと思ひます[illegible]ますか」と注意深い[illegible]の尖まで觀察してる[illegible]里から妹と從妹[illegible]何處かへ奉[illegible]みしたい」と二

から」云ふので伺つた譯で……」といを切つて悠然と構へる女將の「れ殿嚴ですか」と急き込むのを輕く受けた白面子「妹が十八で從妹が二十歳です」と滑り込ませ「失禮ですが御容色は」と女將の呼吸は恐ろしくハツむ「自分の口から云ふも變ですがね從妹も妹もれ愧かしいが浮氣女なんです、デ又浮氣でもする程の女ですから美人と云つて差閊はないんです取り分けて妹は母親似で私の顏と正反對で故鄕では小町娘との評判女なんです」圖に乘つて喋舌て尻尾を出しては一大事と此所で句切つて女將はと見ると一尺餘りも蒲團の外へ膝を乘り出して居る（つゞく）

●田舍娘の修學熱　▽男女同權論者の卵

元忠淸北道觀察使たりし李鎬成は目下群山の鄕里に歸臥し居けるが同人の娘辰用（十五）と云ふは朝鮮女に似もやらず學問に熱心し將來一廉の女史とならんとの希望滿々たるものありしが如何せん田舍に居ては思ふ樣勉强も出來ざるより去二十日決心の臍を固め折から同港寄港中の群山丸に搭乘し海路仁川を經て京城なる親戚たる李完用伯の許を訪れ情を訴へ後見を賴み螢雪の功を積まんとの心掛を以て一少女の身を顧みず單身仁川に上陸せんとせしに折から出張中水上署係官不審を抱き取調べたる處前記の事情判明せしより不取敢仁川署に連行し保護を加へ目下實父に向け照會中なりと云ふ

●遣れ遣るな二人女郎　▽第一樓の艷香と若駒

極端と極端とは一致するものだか何うだか年中生計向の方に追はれて居るので落着いて考へる暇もなく又考へ樣ども致なかつたので未だに分明存せぬ始末申譯もない次第と只管謝罪るより外に手段も方法も無いが意見の總仕舞ひ燒栗でも鍋燒でも乃至は燒煎餅でも煎豆でも食うものでさへあれば堅実でもシハイベエでも拳固でも可い食物にありつけるとなれば死なない實母の法事でも仕樣と云ふ位猛烈に食物に趣味を有つて居る女と云ふは新町第一樓の艷香れ客か鴇母衆にと墓口を擴げにかゝると怯へた如な顏つきで「れ止しなさいな仲居に祝儀を遣るのは勿体ないワ其樣無駄なれ實があるのなら何か食べましようよ」ねね、其方が靈何身体の滋養になるか知れませんよ、其野郎には仲居にポチを遣つたからつて肥太りもせねばオクびも出ませんよ、夫れに引き換へ美味ものを喫べて御覽なさい美味くつて滋養に成るんだからね、左樣なさいよ、仲居さん親子丼を二つに鰻丼を二つ、大急ぎよ、エ、仲居に食べさせる位なら妾が食べるワ、二つ宛で結構よ、貴郞二つは食べないつて、嬉しいね殘つたら妾に頂戴よ、誰れにも遣らずによ」と慾張ることの夥しさ、此樣娼妓ばかりだつたら仲居は上つたりだが、其處が又能くしたもので同じ樓の若駒と云ふのは此れと正反對で「幾何た腹が空いて居たつて今夜一晩位で飢ねて死はしませんよ、ねね、うどんを食べる錢が有つたら仲居さんに遣つて頂戴、デないと妾苛められるんですもの、ねね、れ腹が空いて居ればヂーツトして被在い一晩位直きに經過ワ、而して朝になつたられ宅へれ歸んなすつてタクサーン召上れな、其方が經濟で加かも衛生的だワ、第一夜更けに食物を喫べると毒ですよ、仲居さんにポチを遣つて胃を惡くした人はないんですからシーコシでも宜いからサア」と此れは又猛烈な仲居黨、此れを詮じ詰むるに手段こう變れ孰れも己れが可愛いからなゝ、成程極端と極端とは一致しますなア、ア、他年の疑惑一朝にして釋然たり矣。

●總督對秋吉氏事件　▽二審廷の公判は十月十二日

原告秋吉富太郎氏より被告寺內總督に對する仁川朱安鹽田土地所有權確認並に返還訴訟事件は第一審仁川支部に於て原告敗訴の言渡ありたるより原告は第一審同樣木尾岩本の兩辯護士を代理人として控訴せしより來る十月十二日京城控訴院民事部法廷に於て三宅裁判長の係りにて公判開廷せられ深澤檢事立會ある可しと

●三百代言の横領

朝鮮に於ては未だ辯護士及訴訟代理業者にあらず代書業者にもあらずして訴訟行爲を爲す所謂三百なる者あり懇直なる多くの日鮮人を瞞着する爲弘に數し何等取締の法なき爲め彼等は他人の債權を買名義の下に讓受け恐喝的に督促し或は强制執行して不當に利得し之を擧圓する等の揭句が當局者の厄介問題となるなり茲に山口縣人當時南大門通り四丁目居住町田常次郎は他人の債權を讓受け或は鮮人相手人に仲裁其の他の名目の下に活動中なりしが今度横領罪犯人として其筋に引致取調中なるが犯罪內容に付ては其筋の犯罪搜査上差支に付後日報導する事あるべし

●暴漢を斬て自首

兵庫縣神戸市小野江通り五丁目當時京畿道楊州郡伊淡面倉里居住石工大原米太郎（三二）は親分なる南大門外住野村吉三郎の請負に係る京元線工事に從事中九月八日午前十一時頃突然佐粟善吉なる者來り暴行を働きしより憤慨して仕込杖の日本刀を以て斬付け重傷を負せ其筋に自首し出しより檢事局に送られ京城地方裁判所公判に付せられたり

●南無遍照金剛の祟　▽神佛非禮を受け玉はず

先頃京城券の菊家から茂松と名乘つて出て居たれ安値樓の御座つた事は苟も茶屋酒の一杯も召し上つた程の方にて御存じない方はあるまいも少々大袈裟ながら兎に角昔江戸と申した東京日本橋は芳町の井筒家と云ふに於て柳腰を擇つて艷名を思案橋の界隈に唄はれ大觀音の名どともに隱れもなき全盛妓であつた、とは自分の口からの吹聽なれば決して間違のあらう筈はあるまいが田舍者の正直さに繖枯れて而して何うやら身にかゝり相なアノ妓の聲され聞負目にサビのあるシブイものゝさ記者を初め多くの人の感心をして居た隙を覗つて井筒家流を發揮し生擒つた人の數も尠少ではなかつた內にあつて彼の明治町一丁目の株式仲買西村支店の主任山本孫助と云ふスコ禿とは一通りならん交情が嵩じて夫婦約束、自前稼ぎの氣樂さは早速約束履行となり本年三月永年汚した泥足を奇麗薩張りと洗ひ清めアノ細い首骨の能く折れねねなアと思はれる程のデコ／＼丸髷で鉾で洗ねば三十二とある婆だれの恥かしくもない花嫁振り、弘法大師が信仰とあつて菊家の秀香に迄南無遍照金剛の御利益を說き回る熱心も致手が秀香と云ふ人一倍婆々氣の多い女の事とて「南無遍照金剛ちやアれ花にならない矢ッ張アーコリヤ／＼の方が御利益が有り相だワ」と云ふ不貞腐れ方に流石の茂松呆れ返りて何も云はず亭主の孫助と二人して南無遍照コンゴッてる間に孫助の使ひ込みは數千圓に上り本店から整理委員の渡鮮となつた結果支店主任ごして孫助の不始末は明となりしも謝罪らうとせぬ志太さに御拂箱と成つて見ると他に藝のない茂松孫助の二人早速生計に困つて茂松所有の金指輪四個金時計一個を抵當に南山町の高利貸〇田から金二百五十圓を借用して今日此の頃の秋風を凌いで居るとか、さりとは弘法大師の御利益こう爭へぬ物かな南無遍照金剛

●牛泥棒の二人組

本年三月頃より南部署管內に畜牛の盜難續出し其の被害の都度南部署の刑事臨檢せしに犯罪の方法同一手段なるより各刑事は犯人搜査に內偵中南部水口門內居住與明根（二一）京畿道黃州郡松波里居住兪郁三（二三）の二名が常に同伴にて身分不相應の遊興を爲し其の擧動不審なるより注意し犯跡搜査中の處右兩名共謀して今日迄に牛八頭外金品三十余點價格八百余圓を竊取したる事判明して逮捕され目下取調中

●賭博中を御用

龍山元町四丁目二十八番戸山本久吉（五四）同山本方同居小林安太郎（四五）祝町番戸不詳河原崎太之介（三四）京城府南部壽町番戸不詳安部總介方武田實（三十）龍山櫻町九十六番戸小林仙太郎（五一）は十八日元町四丁目前記山本久吉方に於て賭博中龍山警察署の手に逮捕せられ武田は罰金七十圓山本小林の兩名は三十圓河原崎小林仙の兩名は二十圓に即決言渡さる

●唐黍を三十五本

龍山東町饅頭製造所日の出屋雇人福岡縣人牛尾吉三郎（九）は窃盜前科付の曲物にて其筋の注意中の處九月九日午後二時頃龍山面孔德里の畑地に於て唐黍三十五本を竊取し檢事局に送られ京城區裁判所に於て懲役六月に處せらる

●筑前薩摩琵琶大會

朝鮮研究會主催にて來二十三、四（土曜、日曜）の兩日壽座に於て琵琶大會を開催する由なるが出演者は井上霞曉、霞泉女史、中島樂洋大塚曉潮、鎌田淸風、久木田天紅、曉濤望月ゆき子氏等の出演ありと

●中央集產市場

日鮮人間の有志は警務總監部の認可を得て當地中部典洞に中央市場を新設し九月二十一日より開市したり取扱品は野菜、雜穀、獸、鳥、魚類等なりと云へば附近住民の利便は多大なるべし

●美術品の割引販賣

漢城美術品製作所にては今般販賣部を同所表通り即ち光化門通りに新築し去る二十日より製作品を陳列し大割引販賣を開始せりと

●仁川の赤痢患者

原籍茨城縣結城郡水海道町當時仁川松林里住桶職菊地作次（三三）は一昨二十日赤痢病に罹り避病院に送らる

●仁川署捕蠅買上

仁川警察署にありける捕蠅買上は一昨日までにて六升六合代金六圓六十錢なり

●演藝だより

●浪花館●　れ馴染の吉川今勝一行の浪花節なり今勝の微妙なる聲調は愈々冴へて一層の圓熟を示し來れり一行中の吉川孤舟は義士傳を廣澤樂園は慶安太平記を讀む

●歌舞伎座●　此れもれ馴染の木村猛夫の一行にて花々敷開演中なり

平民文庫

▲交情の好い筈の朝鮮新聞が先頃京城日報の棄破扶を演つたのは諸君御承知の通り▲此れを見て怒つた京城日報は言葉喧嘩は面倒臭いと職工を雇ひに社員を仁川に派遣する記者召聘の爲めに編輯長が暗中飛躍をする夫れは／＼大した活動▲流石は京城日報社だ職工と記者とを仁川から增聘して堂々と戰はうと云ふ計畫を立てた、費用は國民の負擔だから思ひ切つて出した事は無論▲然るに一方朝鮮新聞では夫れではユーカイだと憤慨して不都合だと怒鳴り込んだので其計畫は山の好爺の一聲で中止され朝鮮新聞の勝利▲茲に哀を止めたのが勸誘に應じて京日へ入社を企てた記者殿二人不都合だとあつて召聘せぬ事と決つたので虻も取らず蜂も取らず泣々の都落ち▲『身から出た錆とはあれ吉野君に賣られた怨みは忘れない』と▲可笑かつたら笑つて呉れ玉ね（寶友子）▲總督府醫院の看護婦は官民及び階級の上下に依つて應答の言語を二三にする（東大門生）▲果して事實か然らば改善を希望する（係）▲カブノ大ツウジ云々の投書は譯が分らぬから沒（係）▲私近頃渡鮮致ました者ですが宜敷茶道の先生がありますならばし下され度希はくは表千家流が好みですから當欄まで（依賴生）▲多さか某の投書は自己の非及び自己の恥を棚に上げたる愚劣なる手段なるを以て揭載せず（係）▲市中を步行いて見ると空屋がある夫れだのに盛んに官舍を建てゝ居る今では京城も東京も同じ日本だよ東京の何處にか判任官や雇員にまで官舍を給する所があるかよ韓國は併合されたんだよ、ナニ、判つてると、噓を云へよ判らない證據が現在諸所に突立つてるぢやあねいか（不平生）▲其筋へ「斯る徒輩には社會的制裁を加へるの他はあるまい、困つたものだ」と納まるかね、ハックショイ（小僧）▲今關長造と云ふ小役人が〇〇淵某の內緣の妻と姦して居るとの投書は沒（係）▲仁川に東京市麻布本村町の帝國尚武會員は居りませんか（會員の一人）仁川京町交番所附近の或米屋では近來の米價騰貴につれて米に水を含ませて賣る奸商がある（八軒長屋）▲濱町白石旅館の女將は大觀山の手町邊へ往來するのは怪しいと思ふたら妾の條女の分際として賭博に耽りて夢中とは呆れたね（山の犬）▲宮川組の〇〇の聟は生意氣で困る三年三月賭博で生活した男です宮川を除けて下さい（金天）

宴席御料理仕出し
旭町 富田
電話一三九二
宿泊宴席大廣間あり

腹痛と下痢
腸の患ひ一切には
▲醫學博士柏村先生の創製に係る醫界理想の腸胃薬ヘルプを用ひよ
HELP ヘルプ
勝胃新藥
效能 ●痢病●腸加答兒●食傷●腹痛●吐瀉●腸の死斯●水傷時候あたり●痢急後重●等一切の下痢を止め腸胃を整へ惡疫を豫防す
本舗 東京今川橋 津村敬天堂
取次は各藥店にあり

最上山十印醤油
千葉縣銚子町
醸造元 岩崎重次郎
京城本町壹丁目
發賣元 三巳商會
電話七五三番

御料理 金山寺 味噌
製造發賣元 京城南大門通
遠藤商店
電話九八二番

日本官製煙草ト景品付大賣出

本社事各位の御愛顧に依り日増繁榮に赴候段奉謝候今般創立五周年に相當仕候就ては聊か謝意を表せんが爲京仁間に於て左記口付煙草に對し景品付大賣出擧行仕候間陸續御買求の程奉願上候

敷島 一ボール(金一圓六十二錢)ニ付景品券一枚
芙蓉 (專賣局製新荷)一ボール(金一圓六十二錢)同
大和 一ボール(金一圓三十二錢)同
朝日 一ボール(金九十二錢)同

景品總金額
金一千九十七圓十五錢也
一等 三拾圓(貯蓄債券又ハ勸業債券) 五本
二等 拾圓(同) 拾五本
三等 五圓(同) 五拾本
四等 (煙草入)(煙管共)一組 五百本
五等 五厘郵便切手 四萬九千四百三拾本
空籤なし 合計五萬本

賣出期日
自明治四十四年九月十九日
至明治四十四年十月三十日

抽籤期日 四十四年十一月十日
抽籤場所 京城日本人商業會議所
景品引換期間 自明治四十四年十一月十一日 至明治四十四年十一月三十日
景品引換場所 左記 京城 仁川 特約店

京城特約店
京城本町 森久兵衛
京城本町 高木德彌
京城本町 前田熊市
京城本町 久保田虎介

仁川特約店
仁川本町四丁目 鈴木倭
仁川本町四丁目 河野竹之助
仁川京町一丁目 鬼頭兼次郎
仁川本町 貞安倉吉

注意
數量、期間に於て上記の如く制限有之候事故可成早く御購求あらんことを希上候
明治四十四年九月一八日

日本官製煙草朝鮮滿洲一手販賣特許
東亞煙草株式會社

開店廣告
謹啓各位益々御清穆奉大賀候陳者弊社儀諸賢の御賛同に依り短時日の間に設立致し豫て家屋新築中の處今般落成に付九月十六日より營業開始致候間將來御愛顧を賜り度此段開業廣告旁々御披露申上候

營業目的 委託に依り新古家財家具衣類及新古諸雜品書畫骨董並に土地家屋等の競賣
競賣日 定期會(三の日)(八の日)午後一時開始 臨時會は出品者の依頼に應じ臨時に開會可致候

明治四十四年九月 日
京城南大門通三丁目三番戸
京城競賣株式會社
電話七八四番(ケ)
電略 (ケ)

追白 清國方面より書畫骨董其他珍品澤山委託相成候に付來る十七日午後一時より成行値段を以て競賣致候間何方様を不問賑々敷御光來被成下度候

警務總監部認可
京城中部典洞
水陸物産 中央集産市場
◉愈々九月廿一日より開設致候◉

眼科專門
前大韓醫院眼科部長
京城本町六丁目(元軍司令部通り)
金井眼科醫院
電話一五五六番
金井豊七

諸名士の健康を一新しつゝある新衛生法を見よ
實業之日本
九月十五日發刊 第十四卷第十九號
一冊十錢 郵税共 一年分増刊共一圓五十錢 半年同五十錢 三分同

所信を大膽に公言せよ……新渡戸博士
學生の大問題……大隈伯 澁澤男
◎世の中は圓滿のみで渡れぬ……
◎北海道は最有望の大工業地……増田社長
新健康法出づ
◎伊藤博邸に於けるジョルダン博士……
◎新大藏大臣山本達雄氏を縱横評論す……
▲岡田式呼吸靜座法
△學者敎育家貴族軍人青年學生多數實行
△高田天野坪内諸博士皆奏効顯著に驚く
△痩者肥え肥者緊り胃腸强健精神爽快
△半身不隨も自宅にて實行自在
奏効頗る顯著
◎赤道直下の孤島に働く二百餘人の日本人……
◎北海の荒野に運命を開拓せる一老傑……
◎主人も月給制度で働く……藤原商店の組織
夫婦共稼で成功したる實業家……
◎當今名士の奇抜なる學生時代……
勉强中の腦の疲勞豫防法……樫田學士

新渡戸博士著 修養 大歡迎忽三版
處世慰安精神修養唯一名著 大版上製金文字入美本函入 定價一圓七十錢郵税十二錢 臺灣樺太滿韓は郵税四十錢

東京京橋南紺屋町 電話京八七四 實業之日本社 郵便振替貯金口座東京三二六番 全國各地書店

火を恐るゝ人は水を備へよ水を有効に使用せんとせば本器を備へよ

警鐘夢を破り猛火天に沖するの狀を想起して誰か火災防備の寸時も忽にすべからざるを思はざる者あらんや。然れども喉元すぎて暑を忘るゝは人情の常、禍は實に此の油斷の間隙より來る、治に居て亂を忘れずとは眞に處世の大福音にあらずや公設消防機關如何に整頓するとも家庭防火器の普及せざる限りは防火の設備全しと言ふ可からず
總て火炎消防の要訣は即時應急神速なるを第一とす大火の原因は失火初期消防の手遲れに在り
消防の手遲れは家庭に防火器の用意無きより起る
防火器の備付けは自衛の手段のみならず社會生存上の一大義務也

新案特許
新案登錄一七〇二七号 二六八六六号 一六五六七号
吸上注射 輕便防火ポンプ

蒙御買上榮
山階宮 華頂宮 東京兵器本廠 第一師團司令部 第十一師團司令部 第十六師團聯隊本部
福井島根各縣廳 東京大阪熊本 外衛戍監獄 煙草專賣局第三製造所 福岡仙臺 府中及各所
其他學校官署民工場等數萬の常備者を有する有効無比の防火器なり

本器は諸官署及全國各警察署より有効證明書百餘通を拜領し且實地奏効幾多の實歷を有す

本器の構造及特色
水勢と注水量 注水口經約曲尺二分五厘 注水十間以上に達す以て其水勢の强烈と注水量の多量にして防火効力の偉大なるを知るに足るべし
長サ四尺三寸重量一貫目以内故運用自由携帶利便下部を水に挿入して使用するも又吸管を接續して使用するも共に無盡の注水をなすを得、
殊に婦女子にても即時一人にて使用し得るは本器の最も特長なり
消防隊用 本器は家庭用として必須なるのみならず消防隊として有力也非常時各自常備の本器を携帶集ひ來らば消防力偉大にて即時應急的に輕便なり
平時用途 屋上庭園道路の撒水農業用消毒用

定價大形銅製金八圓五十錢 以下各種 見本品又は御使用品は代金引換小包にて郵送の便有り
●特約販賣希望者は申込あれ説明書無料送呈

製造發賣元
東京日本橋通四丁目 電話本局二二二二番
大阪高麗橋四丁目 電話本局一八九番 電話本局二一九〇番
京阪ポンプ製造所

京城新報　其二

●京城雜觀（下）

ぼんくら生

チンコウカイと云ふ町は繁華な所であ
る私のやうなぼんくらの眼にもさう見える。

私は或日吉野君（京城日報社長）の家に土産物を持つて行くと、日曜日の午後であつたためか留守だ、其后晩に行つて見ると客來らしい、細君が出て明日午前十時から十一時迄に來いと答へられた、私は翌日行つて見ると、吉野君が居られる。

玄關口の一間に椅子に腰掛けて談話を續けた、私が地方雜誌を經營した事も一流の文士等と肩を並べた時代もあつた事も、吉野君は忘れたものか、否私の見せて置く文藝雜誌の詩人や俳味やなぞを、非常に恐怖されたもの歟、始めは沈着の態度を以て話して居たが、軈て私の師事した、今も名聲かくれもない、一流の文士等を前世紀の遺物と罵りて狂氣者の如く、私に八ッ當りされた揚句に『編輯長が傍に用があるから來て居るのだ、五分間で用は辯じられる歸りなさい』と社長鼻息が荒い、編輯長と云はれた頭にコブのある方が『何編輯長と云ふほどのものではない』と呟やかれる、私は只笑つて答へなかつた。君子に禮ありと云ふに君子人を以て任ずる、吉野君が遠來の舊知に酬ゆる結句は斯うであつた。

私は吉野君にまで怒鳴られる程の、馬鹿でもない前宰相にさへ怒鳴られた事はなかつた、斯くの如く輕蔑されては鐵拳の御見舞が本當であつたが、ならぬ勘忍するが勘忍であると知つて、心に吉野君の暴言と驕慢さを、氣の毒に思つて、驕る平家は久しくはあるまい槿花一朝の榮であるぞい、國民の蘇峯の御蔭で主筆か社長かが出來て居られるが知れたもので、寺内總督が歸ると同時に原敬さんが主筆を更へるのが目の前に見えて居るではないか。

私は胸に笑つて歸途に着いた、歸途に着きながら京城新報社の門を潜つて、刺を通じて直に門を出ようとすると、係員が私を止めて社長に逢はして呉れた、物は親切が大事だと思ふ。

道細ければ鈴虫や踏まれなん

私はぼんくらと罵られた、ぼんくらの顏にもかゝる嘲りを受て口忘られない忘れやうとしても何んだか、奇体な感想が起る。

私のぼんくらの頭に考へると、吉野臥城と云つた人と太左衛門と呼ぶ俗物とは違ふ人と思はれた、例へば田の蛙だ其蛙を今し古井戸を替へて新らしい水を通した所の蛙となした、さあ井の中の蛙らしいから、東京を忘れ人を忘れ友を罵る。

京城日報社には出ない自宅にのみ、へばり附いて居るとの道路の人の噂も高いのは事實である、そこへ來ると新報社の社長は職務に勉める方だ、御用新聞でないけれども今に運が向いて來ると私は屢々の待合室を觀ても、京城新報は机上にあるが、つひぞ日報を見た事がない、些した事でも早解りがする、私いばんくらの頭にも偲う解せられる

雜録

●初秋の昨日今日

晩香生

九月の聲を聞くと一時に秋が來たかの樣な氣がする、何だか心細い樣な氣もすれば、哀れな樣な氣もする。暑いも寒いも彼岸迄とやら、暑い〳〵と騷で居る中に秋風が吹き始めて來た、雀の飛び具合、日の照り具合、空の色、水の色、稻穗をあふる風、木の葉を傳ふ風などが遺憾なく秋を示して居る實六庵に萩見御案内、栗飯御案内の廣告を出して吾物顏に人の袖を引いて居るが、之以上に尙秋に最も縁の深いものは月なるべし、春夏秋冬月はあれども秋と曰へば月、月と曰へば秋なる事、尙月を見るより明かなるべし、さればこそ中秋明月とぞ曰ふべけれ、座して見るもよければ山に登つて眺むるもよかるべけれど、水の邊には叶ふまじ、まだ慾を曰へば船があつたら尙趣を強くすべし、石山寺の月も、琵琶の湖があればこそ、賞でらるゝのである。

自分は或夕漢江に月を見るべく、夕食をそこ〳〵にすまして麻浦行の電車に投じた、車中夫婦らしき男女を除くの外は白衣長管の鮮人を以て充たされて居る、日は既に西に沈み、十日あまりの月は南山のこなたに淡光を放つて居る、殺風景な電車は、丁度東京の目黑の樣な處を走つて居る、間もなく孔德里と曰ふ、何だか意味のありそうな名稱の停留所に迄運ばれた、こゝから歩くか亦一興かと、ひら〳〵と電車を飛び降り、親讓りの自轉車で前進開始、遠近のヨボの家であろー燈火がかすかにあはれな樣に目に映ずる、鐵道線下の隧道を拔けると、まだ出揃はぬ稻穗を、なぶつて居る夜風が颯と身に泌みて、衣類の襟とかき合すと、サワ〳〵と音がして道傍の獨立樹の早枯の葉が地上に吹き散らされた、誰やらのいたづらに『桐の一葉に秋とは知れど妻の袷もまだ買へぬ』とやつた事を覺えて居るが、幸に自分は可愛い妻がないから其心配はいらぬが、もー冬が來るかを思へば吾々北國の雷は忽ち困るわけである、暑くつても矢張夏がいーなど馬鹿な考へを起しつゝ、無意識に足を刻んで行くと、もー麻浦の船橋に來て居るのだ、忽ち我に返れば大空の月は愈冴へて墨を流した樣に眞黑な川の面を照して居る河岸には仁川通ひの船が申合せた樣に、おとなしく林立して明日の天氣もよかれかしと、くつろいで居る、川になくてはならぬ、柳の木が又不規則に岸に立つて夫れ相當に趣を添へて居る、一陣の微風徐ろに水面を吹く水に映つた月は、忽ち千々に碎けて金波と化し風止めば形元の如く幾度か風が月にからかつて居るのもをかしく恍然と夜の更くるも知らで水月を眺むるや久し、折しも誰を乘せた船にや遙かの彼方に櫓聲の聞ゆるあり續いて涼風と共に傳へ來る、吟詩の聲はからかに耳かたむくれば節面白く

月橫二大空一千里明　風搖二金波一遠有レ聲
夜寂兮盤茫々　船頭何堪今夜情

と實に萬感たへがたく覺わず快と呼ばしむ、將に之れ東海散士の作にて此詩此一瞬間の光景を寫し得て、又妙なりと曰はずんばあるべからず。

遙かに眼を轉ずれば遠く河岸に沿ふて星の樣に見わる人家の燈火が、水に映つて居る景色も亦見捨たものにあらずそばの柳が出〳〵と曰ふから行けばいやじや〳〵と振る姿が又憎くらしいとやかくして居る中に、月は早や西に落ちて、今迄冴へて居たのも段々と淡紅色を帶びあたりが薄暗くなる、今迄涼しかりし風も何だか薄氣味わるく感ぜられ一種言ふ可からざる悽然たる氣に襲はれ、何物にか魅せられたかの如くに頻りに冥想に耽りつゝ元來し道を辿り、何かなしに一入の寂しさを覺え、何處行の滊車にや滊笛の音迄がかすかに哀れを訴ふるに似て居る。萩花未だ枯れず菊英未だ開かざる初秋にて尙既に然り、秋はこうしたものかと思へば、晩秋の哀れは亦一入である。

（九月五日稿）

諸公債諸株券現物賣買
迅速確實に御取扱可申候
兼業　既製洋服卸小賣　諸官衙御用達
京城本町三丁目
大坂野村德七代理店
田中友吉商店　電話九九三

雜報

●京城圖書館觀察記（上）

京城南大門通二丁目南側に少し這入た處に土壘を以て圍みたる廣やかなる空地がある其片隅の石垣の上に瀟洒なる木造二階建の西洋館が見ゆる之が今の京城圖書館である市の中樞繁閙の地なる米倉町電車停留所から僅かに二十四五間を隔つるのみなれども巧みに市の喧噪を避けて居り四境綠樹を以て繞らし南は近く南山の翠色掬すべく北は北漢山の眺望畵くが如しで眞に閑雅なる讀書の好適地である今の建物は將來別途の用に充つべき京城圖書館の一部なるも間口六間の總二階建にして外に玄關及便所等がある階下に書庫、閲覽室、宿直室を備へ階上には十疊八疊三疊の日本座敷があつて門前及玄關には電燈をつけ各室には瓦斯を引き電話も架設せられ閲覽者の使用を許し頗る便利である京城圖書館は元京城文庫と云つて京城日本人商業會議所の內に併置せられてあつたのを新築落成と共に今の處に移轉し去る八月二十九日即ち日韓併合紀念日から開館したのであるが閲覽者も之れまでと違ひ便利も好く閲覽室の體裁も好いところから俄に倍して中々多いさうだ新圖書館は木造にて外は水色に內は白色の漆喰塗りである上に窓が割合に大きく且つ多いところからどの室も大層明るく陰影の生ずる樣な處がないから讀書には非常に都合がよい閲覽料も追々には徴集する見込なりと云ふも當分の間從前の通り無料で閲覽を許して居るにより何人にても隨意閲覽が出來るから至極便利である京城圖書館は初め明治四十一年中某文庫の藏書全部即書籍本千三百餘冊を讓り受け之を京城商業會議所の一室に備へ置きて公衆に縱覽を許したるに基因して居る稍々圖書の殖加するに及で之を京城文庫と稱し四十二年一月日本人商業會議所內に開館したのである爾來晨夕孳々として之が經營に勉め漸く發展の曙光を認め更に今日の事を豫想し其資金を得べく朝鮮産業誌編纂の大事業を起し著々歩を進むる間に一面度支部大臣に申請して敷地の貸與を受け明治四十三年十月に至り土工を起し尋で明治四十四年二月略落成するに至り帝國圖書館を日比谷圖書館、大阪圖書館等を親しく視察し來りて之に準據し今日の開館を見るに至りたるものなりと云ふ前述の如く苦心慘憺の結果蒐集したる圖書の數は目下七千以上に及び雜誌其他を合すれば一萬五六千冊以上に達せり今之を分類すれば第一門神書宗教、第二門哲學教育、第三門文學語學、第四門歷史傳記地理紀行、第五門政治法律經濟財政社會統計、第六門數學理學醫學、第七門工學兵書美術諸藝産業、第八門叢書隨筆雜書等である其他統計書類の蒐集に注意したのは他に比類なく內地人の觀察者には非常に參考となるを以て此種の閲覽者多しと云ふ更らに而して當地數多の通信には京城日報、京城新報、朝鮮新聞、日本電報通信、京城通信、朝鮮通信の初めとし雜誌は總督府發行の統計書、滿韓の實業、新半島、朝鮮農會其他內地の雜誌も數多の寄贈あるに依り毎日普通より早く是等新聞通信等を見るの便ありと云ふ（△生）

雜報

●尋ね逢はずの記

野崎小螢

九月十二日朝京城日報に、長島書記官の入京と題して、釜山よりの直行列車にて昨夜午後八時十分入京せりと記してあつた、

僕の縁者なれば、面會の必要ありて其日の午前十一時頃西大門の寓居を出て南大門停車場に至りて、車夫等に昨夜の模様を尋ね、何處の家に宿し居らるゝやと、叮嚀に聞いて見た、車夫等は其様な事あらば、出向ひの仁多かる筈、少しも氣が附きませんと答へられた、

僕は一車夫を雇ひて、宿屋と云ふ宿主を尋ねて見たなら、必ず解るであらうと本町指して、人力車を走らしたのである、先づ人力車組合事務所で書記官の入京を尋ねたけれども、うんな影だもない様子である、然して深切にも取締の人が電話で上等の宿屋に聞き合はして呉れた、どうも解りませんと答へられた、うして交番で聞きなさいと云はれた、僕は其所で交番の前に人力車を置かせて、巡査に尋ねたけれども、以前の如くそんな景色もないらうである、すると査公は深切者だつた、夫れ待ちなさい本署に電話もて聞きませうと、警察署へと電話を掛けられた、暫くして鈴の音と共に、もたらして來た答は、例の如く永島書記官は來ないとの事であつたので、どうしたなら……と僕は考へて居ると、査公は今度は總督府へと電話で尋ねて居られた、稍暫すると鈴の音がして、まだ見えない入京せらるれば、知名の人であるから直ぐ解るが………との報知である、

どうも變だ入京しないものを、嘘を京城日報で載せたものか怪しからんと僕は呟いて査公に謝して、車夫を起せて走らした、それより宿舍を衝いて實地を觀んと、目抜な旅館を尋ねて見た、

功力が現はれない、まるで雲を掴むが如しである、尋ねあてずに歸るも蒲更でなし、と云ふて目あてにする處があるでないから、據なく日報社へ俥を向けた、尋ぬると永島書記官はまだ此方へは來られないので、龍山の旅館に居らるゝが、翌日は大邱を視察せらるゝ様ですと、社員の答へであつた、

要領を得たやうな、得ぬやうな答辨に僕は一先づ龍山行と決定して俥を走らして、それより電車で龍山へ至つた龍山には太陽館と云ふのより外大したのがないから、其家に尋ねて見るなら永島氏は居らるならんと、既に逢ふたやうな氣が出てないのか、服へ附けて太陽館に行つて尋ねて見た、赤兒を抱いた若い細君が帳場から出て來て、ろい様な立派な方は來られません、必ずれ宿め申してれば致しません……と叮嚀に返答せられたで僕の一張羅の紋附きを見るやうに、うして僕を官位あるものゝやうに待遇せられた、

僕は龍山にまで來て、尋ねる人には逢へずに、魂は何處にか去りしものやうに氣抜けがした、どうも厄介でしたと、此家を後に辭したのである、而して停留所に履し立ち盡して居たのであつた、

午前は雨と風が吹きに降つて、面白からざりし日であつたと、今更らの様に意識したのである、僕は停留所に帽子を飛ばせる如き秋風に、衣を吹かせながら、天を飛ぶ雨雲を眺めて居た、九月既に秋である、風は追々寒く感ぜらるゝのである、風は大きくなる商家は戸を閉じて、業を休むらしくあつて、此時僕は懲ら感想を浮べたのである、

風は寒い、斯くして秋は去るのであらう、木の葉も黄色を帶びて、散落するのであらう、今年の秋は此所朝鮮の地で過さずはならないのである思ひやられるのは冬であるとの事だ、冬は殊に寒いであらう……如何にして其冬を防いで暮らさうか、日本男子の片割だ否寒くとも、意志だけも堅固に持たうと、彼空を飛んでる燕はもう十日も經たば暖國へと歸るであらう、秋の彼岸は來ると誰も人間の僕には福音はないである乎、うらやましいのは燕である、燕の如く暖國の故郷へ歸りたいと胸に潮の滿ち來るやうに感慨が迫つて來た時、丁度電車のきしる音に氣附いたのである、僕は電車に登つて西大門へと歸途に着いた。僕は今日徒らして消光したのである。

無責任な京城日報の報導に、かゝる貴き時間を費したのは自分のばんくらを、どこまでも發揮した譯であつた。

（四十四年九月十日夜稿）

友の信

「郵便……福岡さん……」と郵便脚夫は一通の封書を投込んで行た、發信者は福岡の親友太田實である、親展とは如何なる要件であるかと、取敢ず封を披いて讀み下せば

（前文略）偖小生の愚妹園子儀は貴兄も御存の如く性來非常の赤毛にて當人と共に一同心痛致居候處此度不圖した動機より日本橋區通旅町服部松榮堂と申商店より發賣の千代ぬれ羽と稱する赤毛白毛染にて染毛致させ候處不思議にも艶麗敷眞黑の毛髪と相成家族一同大に打喜び申候就ては貴兄の御令妹も矢張て愚妹同様の赤毛にて御心痛の由にも承り居候故右千代ぬれ羽を御使用相成候ては如何と存じ候儘此段一寸御知らせ申上候云々

とあつた、如何にも其心切が筆紙に表れ、殊に其效驗の著るしきと認めたといふので福岡は一點の疑惑を挾さむべき筈もなく、深く其信を陳謝して、早速自分の妹梅子にも千代ぬれ羽を使用させて見ると、成程是まで苦に病んで居た赤毛が、忽ち眞墨になつて其標量が幾層倍も美しくなつた、ツマリ千代ぬれ羽のお陰で二美人が出來あがつたのである。

滿天下の御婦人は

處女も新婦も主婦も老婦も
御婦人一生の友として
婦人良藥中將湯を撰ばれよ

而して婦人病の爲めに
肉体の苦痛を感ずる時
精神の煩悶に惱む時
屹度忘れず中將湯を召させ給へ
中將湯召す方は身体忽ち壯健となり
胸一杯の悲しみも
消ゑて跡なき喜色滿面



一 處女の煩悶

無慘なるかな花子嬢、病の嵐に踏みにじられて花の蕾の咲かぬ内、萎るる事の哀れさよ、女子と生れ、他家に縁付く身の、結婚期を目前に控へながら、多病を喞ち居ては、良縁あれど之を失ひ、月も花も樂しみならず胸に常暗の雲閉ざし、心に不斷の嵐吹くぞ悲慘なる此暗き運命を逃れんとならば世の令嬢達は、中將湯を飲んで健全なる身体を養ひ、婚姻の良縁を失ひ給ふな



二 新婦の涙

新婚の樂しき夢醒むる頃姑の情は冷かなる御客扱ひの

チヤホヤは輿入當時の一月二月もの〻三月もたつならば、はやうちの嫁は何うの斯うのと蔭口色々、況してや村田新夫人は、下の病を匿くすが兎角の癖觸り胸を痛むれど爭はれぬは起居ふるまひ、もの言ひさへも物憂き樣子持病と知らぬ姑には横着者と誤解され、たまには面と向つての惡口雜言人知れず熱い涙に袖しぼる、憐むべきは新婦なるかな厭ふべきは婦人病なるかな、村田新夫人と同じ境遇同じ苦しみに惱む人夙く中將湯を召させ給へ

天下一品

よ・く・き・く の四字は
藥劑の精撰と誠實なる營業方針との
二大特長を有する
婦人藥王



獨占の言葉なり
故に中將湯は
効能の顯著と需要の大とは
天下一品

中將湯は斯んな婦人病に特効あり

ヒステリー症即ち古來からいふ血の道といつて、一年中でも、春秋の候に最も起り易すく、氣が鬱ぎ、癇高ぶり些細の事を氣にし、過去の事や、取越し苦勞をなし思ひつめては夜も眠れない樣になる、次いで腰足が引きつり痛み又時々球の樣な塊が胸先へ差込み錐を揉み込まれるやうに痛みを覺ね、あるひは白血赤血こしけに惱まされて顔色青く、白くねば〳〵した惡臭の膿の樣なものが下りる、これは懷姙の機能を失はしめる所の子宮内膜炎、其他頭が痛む、頭の毛がつれるとか、目が眩む、耳が鳴り肩が凝る、腰足が冷ねる、顔がほてるとか、年頃になつて月のものを見ず、たとへあつても不順だとか、又は其量に多少あつて一定せず、月經の時に苦痛を感じ「つわり」といつて姙娠二三月から吐氣を催ほし、飲食物は胃の中に落ち付かず、産後古血が滯つて種々の病氣が起きたり、産後の日立が惡くて手足の水腫又は痲痺に苦しむ人は皆中將湯の服用によつて、容易に全治する事が出來る。中將湯本舗は東京日本橋區通四丁目津村順天堂（本店振替口座六〇八番、支店は大坂堺筋大寶寺町で振替口座大坂四五六番）で取次店は全國到る處にあります若しなき時は本舗へ御注文下さい本舗へ御注文の方は御容態詳しく御來報下さい加減があります定價は五週間分二圓五十錢、三週間分一圓六十錢、二週間分一圓十錢一週間分六十錢、四日分三十五錢、二日分二十錢です

京城代理店は南大門通三丁目新井藥房にして振替口座は京城十六番であります



三 主婦の嘆き

夜は既に、十二時となつたれど、夫の歸る樣子も見えず、妻君獨り居のわびしさに堪へかねて、胸にも餘る物思ひ「殿方は子種を取るといふ口實で、匿し女なぞを拵へる事や、妾の長煩らひに、愛想が盡きて、自暴の茶屋遊びに、身を誤まる事は、よくある習ひ、夫の夜毎〳〵の遲歸りは、よもや、それではあるまいか、女と生れ、人の妻となり、子供のないほど口惜しいものは又とない、幸ひ中將湯は婦人病の妙藥でれを飲んで弱い身体も丈夫になり、可愛い子寶を擧げたとはよく聞く話ヂアこれからせつせと中將湯を飲みませう、妾はまだ卅すて〳〵、吃度子供は出來るわ」



四 老婦人の樂み

憂き事多き世の中の、艱難を凌ぎ得て地位も高まり財産も出來、家督は若夫婦に讓つて、今は浮世を外の樂隱居、寄席を聽かうが、芝居を觀ようが我儘勝手ヂアこれから餘生を樂しまうといふ段になつて偶々身体の弱い爲めに家にばつかり引込んで由なき事に腹を立て嫁のあらさがしに罪を作り不愉快の日を送つてはそれこそ一生ドン尻の大不幸、こんな人は中將湯飲んで身体をまめにし、今日は其處明日は彼處と遊び廻はるこそ現世の儲け

どう云ふ時に中將球が必要か

中將湯は婦人病一切の内服藥にて中將球は子宮内膜炎とか白帶、赤帶、こしけ、子宮痙攣、子宮炎、子宮加答兒膣炎膣加答兒、子宮糜爛、子宮惡臭、子宮搔痒、尿意頻促、月經時の疼痛、痲毒性子宮病等に内服藥中將湯を服用して中將球を兼用するの必要が有升、殊に良夫の痲疾に罹り居る時は痲毒菌の爲め心付かざる内に子宮を害する事多ければ常に中將球を使用して本病を豫防せられよ、斯て世の婦人病を絶滅する事が出來るなら中將湯、中將球の効や偉大である、病に惱める御婦人達の御愛用を切に望む



不姙症と流産｛子宮内膜炎の分泌物が酸性を帶びたる粘液で精蟲を害し不姙症を起す事多く子宮の炎症は卵の發育を妨げ姙娠するも流産となる事多ければ早く本劑を使用して病根を斷つ事肝要也

定價は｛百二十個入五圓四十五個入二圓、二十個入一圓九個入五十錢三個入二十錢

京城新報 其三 仁川號

雜報

●仁川民團經營事業

現に民團の施設經營に係るものは斗量場、消防組、病院汚物掃除、尋常高等小學校、幼稚園實科高等女學校、商業學校、公園神社、墓地等にして各設備の現況左の如し

●一海岸斗量場　は海岸に接する約千坪の土地を公設斗量場として米豆穀物の斗量乾燥積込等に便す昨四十三年度中に於ける取扱石高は米九萬七千九百二十四石七斗雜穀十万四千四百四十六石三斗にして其使用料金五千三百三十五圓餘なりとす

●一消防組　去る明治二十年中の創設にして爾來幾多の變遷改良を經器具機械の設備等に於ては稍完整を告ぐるに至れり然れども其組員は所謂義勇組織に屬し孰れも一定の職業に從事するの傍ら之を兼務する者なりしを以て其行動遲緩に渉り常に機宜を失すると共に該組員の勤務上必要なる教育訓練を欠くが爲め昨年七月以來義勇消防組員六十六名の外に新に常備消防員九名を常置することゝしたるも到底不完全を免れざりしを以て本年八月以來更に常備消防員十五名を增置し晝夜警備と共に夜警巡回を爲さしめ居れり而して消防費は民團に於て金四千二百五十圓を負擔し(此內金八百四十三圓は各國居留地會の出資に屬す)別に居住民各自の任意醵出にかゝる協議費金三千八百四十圓計金八千〇九十圓を支出し水管車三臺蒸氣唧筒一臺腕用唧筒二臺を使用せり

●一仁川病院　明治三十七年政府の下附金四万六千餘圓を基礎とし明治三十八年十二月起工同三十九年九月竣成せり敷地は民團有志の寄附金を以て千七百四十坪の地を買收し建築坪數三百三十七坪病室十六あり此工費總額金三萬五千圓餘器械器具設備費金一萬二千餘圓なりとす爾來民團特別會計の下に經營し來りたるも財政の都合により昨年中民會の協贊を經て同年七月以降向ふ三ケ年間其經營を個人に一任し建物器具及機械等總て之れを無料にて貸與し年額二千四百圓を補助し以て學校醫の事務及行旅病者の治療其他有事の際總督の命令に依る醫務等を負擔せしむることゝせり而して該契約期間滿了の上は引續き個人經營に委するか或は民團自ら之を經營するかは今尙未定の問題に屬す

●一仁川避病院　は傳染病患者を收容するの目的を以て明治三十二年の建造に係り同四十一年更に七千六百餘圓を投じて完全なる病室を改造し日本形平家瓦葺四疊半六室一棟、同四室一棟、六疊四室一棟と外に醫師詰所、看護婦詰所、看病人控所、小使室、炊事場、蒸氣消毒所、汚物燒却場、死体置場、湯殿等の附屬舍を設け二十名の患者を收容すべき設備にして事務員、看護婦、小使各一名を常置せり

本院は傳染病者收容の傍ら行旅病者の收容救護に任し年々多數の患者を收容せり昨年中取扱數二十一名なりとす

●一汚物掃除並に撒水　衞生設備として明治四十年に於て汚物掃除規則を制定し掃除監視を置き之れが監督の下に受負人をして各戸の糞尿(每三日一回)塵芥(每日)の運搬處分其他下水溝の浚渫(每月一回)及市內の撒水(四月より十月に至る)等を爲さしめ居れり此契約に依る本年度請負金額は汚物掃除費五千四百二十六圓撒水費三百六十圓なり其他市內を二十區に分ち衞生組合を設け各個衞生の普及に努め民團衞生設備と相俟つて着々好果を收めつゝあり而して右汚物掃除並に撒水は來年度より民團の直營事業として一層衞生淸潔の普及を企圖せん爲め目下之れが調査中に屬せり

●一尋常小學校　明治二十三年の創立にかゝり昨四十三年度までは尋常高等を併置し尋常五年以上の兒童を分校舍に收容せしが本年度より組織を變更して之れを尋常高等の二校に分離し本校は單に尋常小學校と改稱し又分校舍は之を高等小學校となし以て普通教育の完整を期圖せり現在本校は三千七百九十八坪の敷地と校舍平家建二棟同二階建二棟其他附屬建物一棟と教員舍宅四棟を有す此總建坪七百七十三坪然るに前記校舍の內一棟は既に朽頽に傾き頗る危險に瀕するを以て先般來民會の決議に依り工費約二萬餘圓を以て改築することゝなり現に之れが認可申請中に屬す而して現在兒童數は男五百四十二人女五百五十二人計一千〇九十四人にして之れを十八學級に編成す本年度經費は一萬七千〇七十八圓なり

●一高等小學校　敷地三千八百六十三坪と建物大小十二棟を有し此坪數四百九十一坪餘にして本年度よりの新設に屬す現在二學級兒童男四十六人女四十人計八十六人にして本年度の經費は四千二百十九圓とす

●一實科高等女學校　本校の創立は明治四十一年四月にして主として高等小學校卒業女生徒に技藝を授くるを目的とし舊高等女學校の組織なりしが本年度より當港女子教育の現狀に鑑み實科に重きを置くの必要を認め學科の改善と共に實科高等女學校として高等小學校舍に附設し實地有用の婦女を養成せんことを期せり現在四學級に編成し其生徒數は六十四人にして本年度經費六千六百十六圓なり

●一商業學校　同校は元と私立仁川衞生會附屬商業夜學校と稱し高等小學校卒業の青年子弟に商業教育を施すを目的とし別に英語韓語專修科あり絕へず八十名の生徒を有する狀況なりしが教育振作の必要上民團自ら經營するの必要を認め明治四十三年以降民團立夜學校として經營し來りしも更に本年度より其組織を擴張改良して高等小學校內の一部に設置し在來の夜間教授と共に晝間教授を開始せり現在生徒數晝間部七十五人夜間部七十七人にして各二學級とす本年度經費四千〇七十一圓なり

●一幼稚園　明治三十三年五月十日東宮殿下御慶事奉祝紀念の爲め建設し翌三十四年七月一日より開園し敷地二百九十六坪校舍一棟此坪數七十三坪餘にして在籍幼兒は常に七十より九十の間を上下せり本年度經費は一千五百十八圓なり

●一トラホーム治療　當各學校及幼稚園兒童中トラホーム患者多數あるを以て明治三十九年以來トラホーム治療を執行し之れが經費として年額六百圓を支出せり

●一日本公園　仁川の中央海面に接する高地にして其面積六千八百九十七坪にして民團公費を以て維持し來りしも當港築港の完成と相俟て諸種の陸上設備に伴ひ是等改善を要するもの多々有之目下企畫中に屬せり

●一大神宮　去る明治二十三年中其筋の許可を得て伊勢大神宮を日本公園內に奉祀し爾來公費を以て維持し神官一名を置き守護せり建物は神殿、拜殿、繪馬堂、倉庫及社務所等あり尙明治四十年以降神輿渡御式を執行するに至れり

●一共同墓地　共同墓地は市街の東隅にあり面積三千八百六十四坪餘在留同胞唯一の法葬地とす同地域內別に一區を劃し陸海軍墓地あり明治十七年以降朝鮮事變遭難者故礒林大尉以下陸海軍人及公使館所屬吏員等を埋葬せる所とす

以上は現時經營しつゝある所なりと雖仁川築港完成の曉は市區の改正道路及下水溝の改造公園及墓地の改良擴張等將來經營を要するもの多々あるへきを以て當民團は約五十万圓を目途とし之れか完成を期すへく調査中に屬す

●仁川に於ける裁判所現況

判事　大谷信夫

當裁判所も一昨年十月迄は水原方面を管轄して居つたが司法權委任と共に區域が縮少し爾來は一府五郡丈を管轄することゝなつた。然し之と同時に日本人事件を取扱ふことゝなり又其後併合と共に外國人事件をも處理することゝなつたので事件の數は減少せぬ計りか却て增加して居るのである而して土地が京城に近く且つ開港場として優位を占めて居る丈けに事件の種類は千差萬別でナカには目立たものも尠くない本年計にても民事にて謂はゞ國家に對する事件あり韓國前首相に對する事件あり一流の紳士に對するものあれば淸國の富豪に對するものもあり獨逸會社が起すものあれば伊太利商人が起すものもあり舊式な山訟もあれば新式な手形訴訟もある刑事にて謂はゞ五人を殺して財物を奪ひたるものあり犯跡を晦まさんが爲めに殺したものゝ顔面を焚きつけた首無事件樣のものあり或は强姦を働りて色魔に十余創を加へ遂に殺害したる如き事件あり背夫改嫁と云ふ非倫の甚しきものあれば紳商が被告となりて稍耳目を聳動せしめた事件もあり被告としては支那人あり印度人あり官吏あり丁稚あり農夫あり浮浪人あり[illegible]件にて謂はゞ會社の登記は勿論妻登記商號登記工場抵當登記あり其他隱居失踪公示催告の申請等諸般に渉り役所の位置こそ稍市街を離れて居るが社會に於ける或方面の實相は殆んど窺ひ知らるゝものである。

事件の數も市街の發達と人口の增殖とで漸次增加の傾向を呈して居る現に本年八月末日迄の分と昨年の同時期迄の分とを比較するに民事にては區四十件支部十四件刑事にては區三十九件支部七件を增加し登記の方は土地二百二十八件商業八十九件工場抵當五件等に達して居る之から築港の着手と共に市況も繁盛に進み住民も日にまし加はり來らば裁判所も益繁忙になるであらう然し民刑事の增加は病院若くは死人丈を取扱ふ寺院等の繁昌と共に餘り結構なことでない而して如何にせば之を防遏することが出來るかと云ふに民事の方では各自が德義を重じ約束を守り徒に利己を主とするを避け刑事の方では各自が秩序を尊び公益を慮り非行廉恥的暴動劣情を愼み社會にては教育產業等を盛にして民衆をして各其業に安せしめ犯罪を未萠に防くの策を講ずるより外に途なしとは今更喋々を要せぬことである余は此點に於て或人が四角同盟として擧げたる爲政者教育者宗教家及篤志家の一考を煩はしたいのである。

仁川港の將來

仁川と京城の關係

仁川港と京城との關係、之を譬ふれば東京市と横濱港とに於けるが如く、仁川と京城とは利害共に離るべからざるものあり。即ち仁川港の隆替はこれ京城の發達を資け、仁川港の衰頽は随つて京城に影響せる所尠なからざる也。而して、東京と横濱とは互ひに海に面しをるも、京城は一の海面をも有せざるを以て海運の便は必らず之を仁川港に待たざる可からず。故に唇齒輔車の關係は、東京横濱のそれに比して一層大なるの感無くんばあらず。況んや仁川が港灣として一大缺點を有せしに拘はらず、尚能く朝鮮貿易上の樞要港として其名聲を墜さゞる所以のもの、京畿、黄海、忠淸南北道等物産饒多の地を控へ、加ふるに一大消費地として、又貨物の中繼地として、朝鮮中他に匹儔するもの無き京城と相距ること甚だ遠からざるに於てをや。

凡そ、貨物の運輸、之を陸上汽車の便によると、海上汽船に便によると、其運賃にをいて海運の低廉なることは吾人の喋々するを迄もなし。是は現今商品の大部分が船便によつて運輸せらるゝに見て知る可く、而かも朝鮮の産業開發せらるゝと共に其數を增し、之れが輸出入港の繁榮を來たすは理に於て爭ふべからざるなり。想ふて茲に到れば仁川港の前途有望なるや知るべきのみ然れど輸出入港は仁川一箇所に限られずして他に數ヶ港あり、孰れも一個よりも多く物資を呑吐せむと努めをれるを以て、縱令地の利を占め、運輸上の關鍵を把握するの地と雖も、四圍の發展に伴ふことなく、徒らに舊態に甘んぜむか、優勝劣敗の理法存在せる限りは安んぞ能く競爭場裡に立つて勝を制することを得むや。仁川港民諸士此に見る所あり、夙に築港の必要を認めて之れが目的を貫徹せむがために多年苦心を積み、遂に今や築港工事の着手を見るに至る。此築港工事は蓋し仁川港の將來益々有望なりとの保障を與へしものにして、仁川港は之に因つて其前途に一大光明を認めしなり。唯此上は港民諸士が築港運動に熱せし如く、完璧せむとする港灣活用の道を講ずるに亦熱心ならざる可からず。若それ築港完成及び京元鐵道開通の曉は仁川港の商勢範圍著しく膨脹せらるゝ事何人も疑を容れず、惟ふに其際に於ける仁川港の繁榮、之れを今に比し數十倍せらるゝや明らかなり。仁川港民諸士併せて密接の關係ある京城市民諸氏豈勉めざる可けむや。

仁川支局開設一週年に際し、吾人は仁川の前途を祝福すると共に、平素寄稿の榮を賜はりし仁川港愛讀者諸君に感謝す。

●校外兒童取締法

仁川小學校長　日野順海

學校教育の忽にすべからざることは申すまでもないことであるが學校以外に於ける兒童の教育も亦決して等閑には付すべきものでない要するに學校に於ける教育が如何に完全に行届いても學校以外に於ける注意が不問に付して有たなら折角あたためた卵を又ひやすと同じものでなんにもなるまいと思ふ況や兒童が學校にある時間は一日の中僅かに五時間が多くて六時間に過ぎないので其他は家庭が又は夫れ以外にある時間で一日の中大部分が學校以外の時間るのである然も其大部分の時間中は家庭の注意は多少あるにもせよ無監督の時間で兒童の獨り舞臺であるのだ此時間がこれ實に少年社會の活動時間で有て然も其時間が甚だ長い況や之れに日曜だの祝祭日や夏休み冬休みの時間を加へたなら學校以外の時間と云ふものはたいしたものである若し夫れ此時間の注意を等閑にしたならばどんな教育が出來るかわかるまいと思ふこゝに活動性の旺盛なる天真爛漫の子供が子供の勝手次第に活動したならば隨分いろいろの面白いこともやるだらうし又隨分悪いこともするだらうと思ふ否現に道路で悪戯を演じたり公園で樹木を折たり電信柱や其他へいたづらをしたり種々雑多のことをして居るではないか公徳を害する様なことをして居るではないかしかし是等は小供夫れ自身に取りては夫れ程悪いことゝは感じて居るのではなからう學校教育でどれ程叮嚀に數へられても戒められたにしたところがさう一々實行的に覺はられもすまいし又活動的な小供であるから常に相當の注意を拂てやらなければ充分彼等を制裁することはむづかしいのである故に學校も家庭も社會も何とかしてこれに適當の方法を講ずる必用があると思ふ一体小供の天性は活動的であるから一分一時でも靜止して居れないのである故に之れを放任して置けばいたづらをするのはあたりまへだ故にこれに向て小言を云ふのは少し無理だ子供にはするなと云ふよりこれをせよと言ふが効力がある故に何か適當な方法を設けて與へると言ふことは小供躾上の一大秘訣だと思ふうれには家庭でも社會でも充分の注意と施設とがいると思ふ家庭の事はぬきとして茲には言はないがせめては教育の補助機關として公共運動場とか遊泳場とか又は簡易圖書館とか言ふ様な設備が大に必用であると思ふ。

併し此等の設備をするには多額の費用もいるし亦容易のことではあるまいが現に角今日の様に放任して置ては教育の上から云ても公德上から考へてもこまると思ふから自分は先以て校外兒童の取締法を設けて之れを勵行したいと思ふそこで是れまで東京市に於て實施して居た校外兒童取締法の一班を述べて讀者の參考に供したいと思のである明治四十年七月四日尾崎市長は東京市小學校長會に於て「公德養成の忽諸に附すべからざることゝ及小學校時代に於て十分兒童の公德心を養はざるべからざること」につき歐米の實例を擧げ我國の現狀に照して大いに兒童取締の必用を說かれた恰もよし此時校長會の議に附せられたる議案に小學校兒童校外取締の方法を調査しこれを實施しては如何と云ふ問題が出て討議の結果調査委員を擧げて之れに附託することとなり該委員調査の報告あるや更に校長會を開き討議の上可決せられて茲に校外兒童取締實施の端緒を開たのである其要項を擧ぐれば次の通りで有た。

校外に於ける兒童共同取締要項

東京市内各小學校は左の要項に依り取締をなすものとす

一、道路に關する規則を守るべきこと
二、交通機關を妨げぬこと
三、公共物並に他人の所有物を大切にすること
四、集會の場合に於て無作法の行をなさぬこと
五、野卑なる言語風俗を真似ぬこと
六、野外に於て風紀を亂さぬこと
七、危險に瀕し又は賭博に類する遊戲をなさぬこと
八、外國人に對し禮儀を失はぬこと
九、他校の兒童と睦しくすること
十、老幼不具者には特に親切にすべきこと
十一、他の教師使喚に應せぬこと
十二、動物を虐待せぬこと

而して前項の決議に基き更に實行方法を審議するために別に委員を設け數回會議の上左の諸項を決定した

兒童校外取締實行方法の調査要項

第一　校外に於ける兒童取締法

一、兒童校外取締方法を調査し之れが實行を期せんが爲に各區に市立小學校長を以て組織せる協議會を設くること
二、毎年一回以上各區聯合の協議會を開き共同取締の要項を定め併せて諸般の打合せをなすこと
三、共同取締要項は全市小學校教員其の實行を期し之れに違背したる兒童に接したるときは便宜訓告を加へ若

(三面へ續く)

●校外兒童取締法（二面より續く）

くば關係學校長に通告をなすこと
四、共同取締要項及各區に於て定めたる取締要項は豫め之れを兒童に明示すること
五、區內小學校敎員間の氣脈を通じ兒童校外取締の實を擧ぐること
六、兒童校外取締に關しては保護者及風紀取締に關する諸機關の協力を求むること
七、本件に關しては官公私立小學校に交涉して協調を求むること

第二 區內校外兒童取締實施方法
一、取締要項を兒童に明示すると共に兒童保護者並に關係機關に取締實施に關する通知を發し協力を求むること
二、區內に取締區域を定め分擔して視察すること
三、區內市立小學校敎員は常に校外に於ける兒童につき左の事項に注意して視察すること
イ、兒童の服裝
ロ、兒童の談話の形式及內容
ハ、兒童の遊戲の種類及場所
ニ、兒童の集合
ホ、兒童の交友
ヘ、公共物及私有物の汚損破壞の痕跡
ト、土地の狀況と兒童との關係
チ、青年と兒童との關係
リ、兒童と興業物及行商との關係
ヌ、其他取締事項の實踐狀況
四、視察及報告の事實は各小學校に於ては一定の帳簿を備へて記錄し置くこと
五、區內の協議會は每月一回以上開會し記錄したる事項の取締實施方法に就て協議し且之れが處理をなすこと
六、定期若くは臨時に特に或事業の實施成績の視察を目的として敎員を派遣すること
七、區內實施成績は每學期之れを調査して各小學校に報告すること
八、取締上必要と認めたる兒童の動作周圍の狀況は區の內外を問はず各學校相互に報告するものとす

第三 兒童校外取締聯合協議會申合書
一、校外兒童取締聯合協議會は春秋二回市役所內に開く
二、聯合協議會は各區協議會より選出したる委員を以て組織す
三、聯合協議會の委員は各區一名づつとす
四、聯合協議會に於ては左の事項を行ふ
い、各區に於ける校外取締の實況報告
ろ、共同取締事項の協議
は、共同取締事項の實施方法
に、實施上他の關係機關に對する交涉
五、聯合協議會の事務は三區づつ順番に之れと處理すること

以上は其大要に過ぎないのであるが之れを實施して以來の成績は殊の外優良で有て學校も家庭も社會も益々其勵行を感じた次第である人口が增殖し兒童が多くなればなるほど種々雜多の出來事の起るのであるから當地なぞでも速かに是等方法の實現を希望するのである。

俳句

●はぎごと「俳句」 仁川小谷丹葉投

……△秋季混題▽……

早稻墨亂ふて九献汲まんずる
盆踊り京童の口害な
女郎花誰に何を恨み咲く
颯々と新涼渡る湖上かな
佛恩を稱ひ心の門茶哉
不破〳〵と仁義守りぬ案山子
干からびた川飛越ゐて盆取り
葬が支障て成りて一葉舟
蘭の香や局〳〵の金襖
銀婦は設けの席献菊の宴
端居して置き忘れたる扇子哉
屋祭り一年に唯一度とて
別莊の間閑寂たり蟲時雨
敷く歎も年〳〵殖て稲むしろ
旅枕紀行を月に物せばや
朝寒う念珠爪操る一圖哉
鳩吹く矢聲び洩れ飛森の中
歌仙描き發句ども詠む月三夜
盆禮や行儀正しき腰扇子
（完。）

祝解停

貿易商
尼崎瀛船
仁川元扱

仁川海岸町
高杉昇
電話五九番

祝解停

船舶回漕
通關取扱
穀物斗量
鐵道運輸
艀船運搬
人夫請負

(朝)

仁川港本町四丁目
朝日組
主任 川手今吉
電話五二九番
稅關濱出張所
電話五一六番

祝解停

船舶回漕
通關取扱
穀物斗量
艀船運送
人夫請負

(福)

仁川港仲町一丁目
福島組
國近新藏
電話五三五番
波止場荷扱部
電話五四二番

祝解停

船舶回漕
貨物運送
穀物斗量
通關手續
艀船運送
人夫請負

(大)

仁川港仲町一丁目
大和組
廣池亭四郎
電話五三八番

祝解停

仁川山手町
仁川病院
電話一六番

祝解停

仁川宮町一丁目
東亞煙草株式會社
仁川販賣所
電話一二五番

祝解停

船舶給水業
回漕業

仁川港
合資會社 木村組
電話 給水部三〇番 回漕部三一番

祝解停

(平)
仁川京町一丁目
力武精米所
電話七〇一番

祝解停

仁川敷島遊廓

(いろは順)

一山樓 電話五〇番
朝日樓支店 電話二五三番
第二朝日樓 電話四二六番
吾妻樓 電話一二二番
第一敷島樓 電話一六二番
第二敷島樓 電話一七番

祝解停

仁川本町四丁目
吉金商店
電話七六四番

仁川萬石町
吉金醸造場
電話二〇六番

祝解停

仁川東部料理店組合

寺町 花の井
崇町 筑後亭
崇町 耶馬溪
花町 菊水
崇町 三日月亭
寺町 都すし
京町 花月
京町 光月
京町 一二三亭
京町 熊谷亭

祝解停

仁川花房町
土木建築
運搬請負
湯淺組
湯淺鹿壽男
電話九番

祝解停

仁川北の新地遊廓

金榮樓 電話七一番
福古島樓
二葉樓 電話三〇〇番
壽樓 電話六〇四番
日本亭
松山樓 電話七一二番
南海樓 電話六一〇番
七福樓 電話四四〇番

京城新報 其四

●球根植物の栽培

左は大和國郡山町聚華園植物販賣場の稱に依る栽培法略説なるが詳細は同場宛返信料添附問合はさるべし時下秋植栽培の期節なるを以て玆に掲載す

▲球根植物の性質　球根植物とは球莖、鱗莖、塊根等の總稱にして寒期又は秋期に發芽し開花結實の後莖葉枯凋して次期の發芽期迄其生育を休止するあり又常綠葉の儘にて越年する者もあり何れも他の植物の如く培養管理の如何に依りて徒らに莖葉の繁茂する事無く一定の葉數を出せば直ちに花梗を抽出して花を開く者なるを以て葉は特に大切に保持せしめざるべからず根も又細少なれば徒らに移植するを忌む。

▲植付の時期　植付期には春植、秋植、春秋兩度植等ありて其の期節は土地の寒暖に依りて差異あれども秋植の者は寒地にては九月上旬より十月下旬迄、暖地は十月より十一月中旬迄とし春植の物は暖地は彼岸頭よりし寒地は四月より五月上旬迄の間に植付くべく春秋兩度植は春秋の内其の好期を撰びて植付くるを良しとす。

▲植地及鉢作り　花園及び畑地に植付るには植付の一週間以前に圃地を深耕して土塊を粉碎して土壌の沈定を待ち植付くる際猶能く耡耕して土面を平均し之れに適當の畦を作り球根類の繁茂を見計らひて各株の距離五寸乃至一尺以上宛を隔てゝ植付べし又盆養の者は徑五寸以上の鉢を撰びて鉢底は陶器の破片等にて排水穴を覆ひ其上に小豆粒位の細砂を投入して排水の便にし其の上に塵芥類及び木葉の腐敗して土に化したる者五割と粟粒大の川砂三割と畑土二割とを能く混和したる培養土を盛りて之れに球の大小及び繁茂等を見計らひ一鉢一球乃至數球宛を植付け上より灌水すると共に鉢を左右に動搖して土壌の沈定を促すべし植付の深さは球の大小に依りて異なれども畑植の者は球全長の一倍乃至二倍の深さに埋むべく鉢植の者は球根の漸く隱るゝ位を程度とすべし。

▲灌水の注意　畑植の者は夏期炎暑打續きて降雨無く爲めに枯死するの恐れある場合の外は要無けれども鉢作りの者は土壌乾燥の程度を見て臨時灌水すべし即ち植付後發芽する迄に多量の灌水を爲さば球根腐敗の恐れあるを以て毎回少量たるべし秋植の者は晩春の候迄は數日に一回位にて可なれども土面の甚しく乾燥する時期殊に春植球根類の生育期には毎日一回乃至二三回宛を土面の乾燥を見計らひて灌注すべきなり。

▲防寒及日覆　寒地にして木框及び溫室の設備ある家にては至便なれども之れが設備を缺き露天にて培養せんと欲せば半強性の秋植球根類は防寒の手當として圃地に室根を造り周圍を包擁するか或は畦上に厚く藁屑及び古莚蓆等にて株際を包圍せば可なり又夏期に於て生育する球根類は炎暑劇烈なる時期に至れば直接の日光を遮るべく屋根を造るか或は葭簀を張りて陽光の直射を防ぐべし殊に軟莖球根類には一層是れが必要あり。

▲肥料の施與法　畑植の者にありては別に肥料の種類を撰ばず一般に花園に施肥する者にて良しけれども鉢作りの者に施肥するには通例菜種油粕に極少量の燐酸を混じて油粕の粉末一升を一斗の水に溶解し全く腐熟するを待ちて其の腐汁に三倍乃至五七倍の水を混じ其の生育に應じて時々隨意に施與すれば可なり。

▲球根類の採掘及貯藏法　球根植物類は大抵開花し結實したる後は生育休止期にして其の莖葉漸次に黄變して遂に枯凋する者にて此の時期に至れば大抵採掘して次期の植付期迄貯藏するを可とす或る弱性の者を除くの外は其儘土中に放置せば往々腐敗絶滅するの憂ひありこれを堀出すには晴天の日を撰びて堀取り土を掃ひ落して後陽光又は陰所にて乾燥し水分の發動休止を待ちて乾砂又は籾殻中に貯藏すべし又或る種類の者は鉢の儘にて灌水を休止し常綠葉性の者は水苔に包み少量の濕氣を與へて貯藏するなり。

雜錄

●藝妓觀

香夢

藝妓と云ふものは餘程品の好いものと思つて居つた然るに此頃貴紙に連載の藝妓の半生なるものを讀で見て驚いて腰を拔かした何で藝妓がこんなに下落したろう一体藝妓なるものは床の間に飾つて置く様な立派な者で無い事は十年以前に已に知つて居つた併し正か是程に生涯罪惡許りで身固めをして居る動物とは思は無い古來歴史の教ゐる所によれば百般の事何一として進歩發展せざるものが無い然るに獨藝妓のみツーデ無い思ひ切て際限もなく墮落するのみだ僭不思議だと思つて能く其原因を詢原因の裏面迄を聞て見ると成程涙の流るゝ様な話もあれば糞の半分出掛た様な事もあるで併兎に角詮じ詰むれば藝妓が藝當本位で無くて身持の堅固を缺くと云ふ事に歸着する一体今の藝妓はビックリする程藝が拙いのがある明治町に興行中の犬芝居に……夫れは猫であるから當然だと云ふものがあるが吾輩は不感服だ昔源平の時代に白拍子と稱するものがある今の藝妓の上品なので彼の有名なる靜御前の如きは其一人だ彼が賴朝の權威に屈せずして鎌しずやしず賤のおだまきく繰かへし昔を今になすよしもかなと歌ひし程の氣慨あれど今の藝妓に望む者で無い又彼の横濱の岩龜樓の喜遊が露をだもいとふ大和のおみなねしふるあめりかに袖はぬらさじと歌ひて自殺せし程の情操を見習へよと強ゐるものでも無いが今の藝妓も是れから大に奮發して願新れでも和歌の一首位は一寸眞似をしたり茶の湯活花一通覺ゐて居つても別段邪魔に成るまい三味線を引張つてラッパ節を歌ひ助平連の巾着の重ひ輕いを計算する許りが能事でないかと思ふ吾輩はどうかして藝妓の人格藝當と向上さしてどんな立派な交際場裡に押出しても少しも耻しからぬ迄に進歩さして見たい京城の藝妓諸君一番奮勵努力するの勇氣あるかあらば末頼母子いが無けれやポコペンだ。